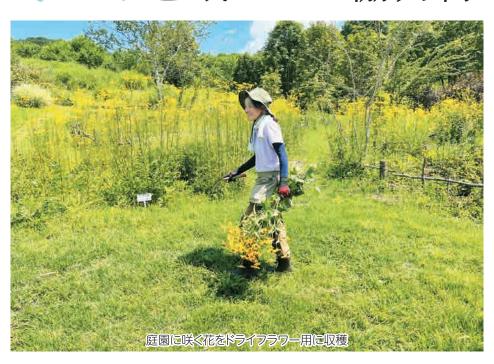
## てらだ やすえ 康恵 寺田

学園芸学部卒。長年地元市役 所の造園職として勤務。山で の生活にあこがれ、昨年6月 「中之条山の上庭園の活 用とドライフラワー事業の拡 大」というテーマで活動を開 始し、六合地区に移住。

## 中之条で暮らす。

# 地域おこし協力隊





者の方のお話を聞くことで、多品 束にまとめて、乾燥室に運び、完 の産地にはない珍しくナチュラルな 目に及ぶ六合の花生産の魅力、他 い満開の花を直接手に取り、生産 という作業に追われていました。 成したドライフラワーを収納する ひたすら花農家さんから届く花を この作業をとおして、一番美し

八合の花の魅力を肌で感じました。

が融合する「庭園」が山の上庭園 数々と日々移り変わる庭園にワク を創り出せる可能性も感じます。 ることにより、より魅力的な空間 ると共に、もう少し人の手が加わ した。この地が持つパワーを感じ 庭園の手入れをさせていただきま ワクしながら、時間を見つけては 「六合の花」と山に自生する野草 六合に来て半年。 珍しい

の魅力と感じます。 これからは、六合のドライフラ 山の上庭園の魅力アップを図 が多くの人に届くよう、

問い合わせ

います。

うに、自分にできることを模索

その情報が必要な方に届くよ

役場企画政策課 企画調整係 ☎75・8837 (直通) 地域おこし協力隊については、町ホームページ (ID1259) をご覧ください

をかけて育てたナチュラルガーデ づき、少ない人手の中で【「時」 は20年以上も前からその考えに基 きた今日ですが、ここ山の上庭園 いう言葉も聞かれるようになって



# 事業について

フラワーとして販売していこうと る六合地区で生産される切花 「六合の花」としてブランドの

6月に着任してからこれまで、

「ナチュラリスティックガーデ (自然と共生していく庭)